

安本利正ご住職を偲んで

利正大和尚との思い出

萬福寺護持会元会長
波田野 鈴雄



利正大和尚、何故そんなに早く去ってしまったんだ。これが私の実感である。…利正大和尚との思い出で先ず一番に思い出されるのが、警察官の護衛の下、萬福寺の関係のお寺にお参りした時の事である。厚木の駅に降りると、10人ぐらいの警察官と、同じぐらいの暴力団と思われる人間が居たが、警察官の護衛の下でお参りしたことが、昨日のこのように鮮明に思い出される。

平成19年以来、いろいろの問題が一つ解決するとまた次が持ち上がって来る日々であった。今、思うとよくも次から次にいろいろの問題が起こったものだと思う。

当初、萬福寺を巡っての問題が起きた時に、5年で解決出来ると思っていたが、実際には6年かかってしまった。去年の5月、利正大和尚に、「すべて問題が解決したから、利正大和尚の思い通りにお寺を運営して下さい」とお願いをした。それを実行されぬまま、利正大和尚に先立たれてしまった。残念で痛恨の至りである。利正大和尚の冥福を祈る。



本堂を出る霊柩車（平成28年1月13日、密葬）



利正大和尚と並んで撮った1枚（平成24年10月21日、人形供養祭）

写真で綴る 在りし日のご住職



正月大般若会御祈祷諷經での転読（平成20年12月31日）



初の人形供養祭での法話（平成24年10月21日）



第1回写真会で古写経を手に説明（平成24年2月11日）



磨墨塚供養後の「するすみ祭」開会式で河原清彦護持会長と共に（平成27年11月8日）



大書院「大涅槃図」の前で（平成25年2月15日）



日帰りバス研修旅行の食事会で奥様と共に（平成24年10月1日）